

第2回 ADCユーザーズミーティング 2021年6月24日

大規模解析システムへの意見

柏野大地 (名古屋大学)

はじめに

- 今回はお声をかけていただきありがとうございます。日頃からありがたく利用させていただいています。
- 申し訳ありません。MDASについての意見表明を依頼されたのだと勘違いしていました（というか分けて考えていなかった）。大規模解析システムは"ヘビーユーザー"と言えるほどには使用しておりません。
- 計算機についてはあまり詳しくないのですが、素人ユーザーとしてコメントさせていただきます。

私の利用状況

多波長データ解析システム (MDAS)

- HSCデータ解析を開始したのをきっかけ利用開始
- 現在もHSC解析, SEDフィット, MCMCフィット、その他generalな解析に利用
- hscpipe, python, IDL, ほぼkaim
- ある程度ヘビーな計算を対話的に行えるのは非常に便利・基本的には空いていて使いやすい。

大規模解析システム (LSC)

- 運用開始当初、LSCのテストユーザーとしてお誘いを受ける。
- しかし、あまり利用せずMDASに戻る。
- ➡ ちょっとした計算とかデータのチェック、カタログ解析にIDLを使うので、これがインストールされていないのが痛い。
- ➡ パイプラインだけ流してMDASにデータを戻して解析しようと思ったが、ストレージが別なのでデータ移行が億劫に感じた。途中のデータに対しても手動で解析をしたりする。

改善されたら嬉しいと思う点

- (NFS)ストレージ容量の増加 (MDAS)
定期的なデータ削除が毎回不安。最後に触ったのがいつかという情報も残しておきたいので、タイムスタンプ更新もできればしたくない。
申請によって大量・長期保管 (~3-5年) 可能に？
個人の科研費でシステム上にストレージを購入可能に？ (共同利用の精神に反する？)
- 1ユーザー/1ストレージあたりのデータ容量の上限の緩和。
いろんな/lfs??/に分散させなければならず使いづらい。
- コア数の増加
- MDAS/LSCでストレージの共有ができると嬉しい。
LSCからlfsへ、MDASからgpfsへ。(kaibm的な使い方？)
- あるいはLSCでもMDAS同様にソフトウェアを充実させて、対話的利用ができると良い (結局MDASが使いやすい)。